

おひつわ

第 163 号

2021 年 5 月 6 日発行

TEL 0193-42-2111

FAX 0193-42-3855

発行 大槌町議会

議会報

『新年度よーいドン！』
(おさなご幼稚園)



主な内容

- | | | | | | | |
|-------------|-----|-----|----------|-----|-----|------|
| ・予算特別委員会の内容 | ··· | 2~3 | ・一般質問の項目 | ··· | ··· | 6 |
| ・審議した議案 | ··· | 4~5 | ・一般質問の内容 | ··· | ··· | 7~13 |

令和3年度予算を審議

「地域人材コネクション予算」

～新たなフェーズに向けて～

◇ 予算特別委員会 — *

を主として町のPR及び
顧客獲得を行うものです。

○コミュニティ形成事業
2388万円

予算特別委員会は、3月12日から17日までの日程で開催されました。
委員長に芳賀潤議員、副委員長に阿部三平議員を選出し、本会議で付託され

た3年度一般会計予算など6会計の予算について審査しました。

予算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、採決の結果、3年度の一
般会計予算など6会計の予算は、いずれも全議員賛成により原案のとおり可決
となりました。

注目事業

3年度実施事業の一部
を紹介します。

○協働地域づくり推進事業

2603万円

第9次大槌町総合計画
に掲げる「協働による地
域・まちづくり」を推進
するため、町民、団体及
び町役場の連携・共創の
場を創出するほか、コ
ミュニティ団体の運営・
活動を支援する拠点機能
を整備するものです。

○大槌町震災伝承プラッ
トフォーム構築事業
801万円

震災伝承に志を持つ町

民、団体等の協働事業体
となるプラットフォーム
を構築し、主に震災語り
部となる人材の育成、震
災学習プログラムや情報
発信コンテンツの開発を
行うものです。また、町
内の震災遺構の活用に関
する調査検討を実施する
ものです。

○地域おこし協力隊協働
事業
2710万円

地域おこし協力隊を活
用し、大槌町への移住・
定住を図りながら、町内
の事業者とともに地域の
課題解決に取り組み、新
しいパワーや専門的な知
識・経験を持つ人材と協
働し、さらなる町の魅力

向上と基盤強化を推進す
るものです。

○起業人材育成支援事業 事業 500万円

町内で新しい事業者の
創出を支援するとともに、
町内事業者の高齢化が進
んでいることから、事業
継承を支援するため、な
りたい支援補助に替わる
新たな補助をするもので
す。

○おおつちプロモーション事業
2400万円

世界的なデジタル化の
潮流と、コロナ禍により
激変した消費者行動に対
応するため、オンライン

○運動施設オープニング
イベント
265万円

3年度に供用を開始す
る大槌町営運動施設（野
球場・サッカー場・テニ
スコート）のオープニング
イベントを開催するも
のです。

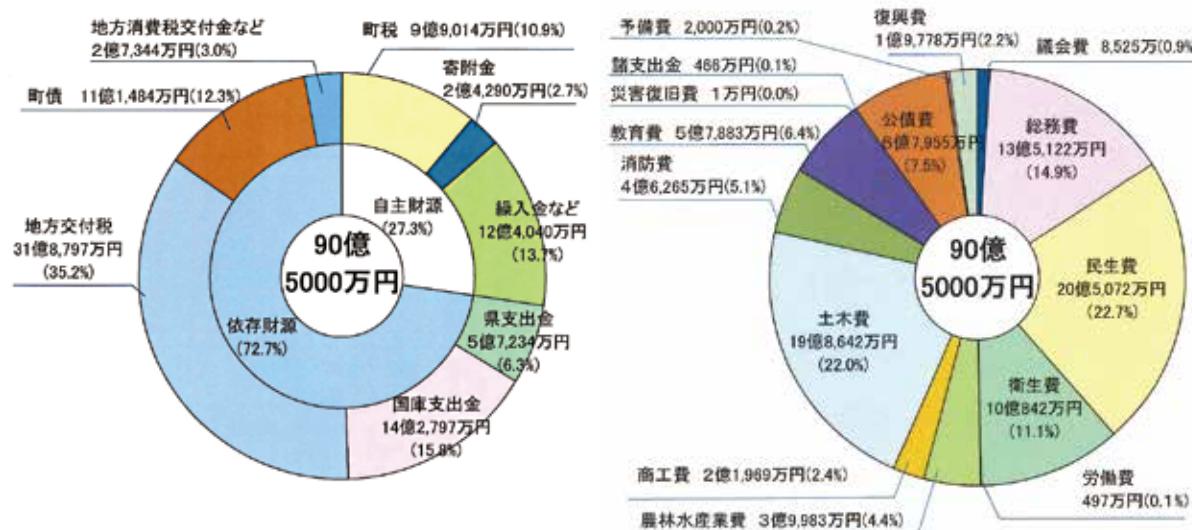
地域づくり団体の形成や
活動を支援し、そのネット
ワーク化を推進するな
ど地域コミュニティの再
生・活性化を図るもので
す。また、コミュニティ
活動の基盤と一体となっ
た被災者の心のケア等の
取組を実施するものです。



大槌町営運動施設（野球場・サッカー場・テニスコート）

予算特別委員会の内容

令和3年度 一般会計予算の内訳



歳入

歳出

令和3年度 各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計		
		国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
予算額	90億 5,000万円	16億 8,752万8千円	15億 7,629万4千円	1億 3,131万7千円

一般会計予算に関する質疑の一部を紹介します。

が仕事されるのか。

◎答弁：週に1～2回、

当町へ訪問し、医療的ケ

ア兒の家庭内相談業務や

各施設の相談支援員の方

へのサポートなど。安心し

てサービスを受けられる

ような体制をとる。

び遊具移設工事遊具更新

工事について、地区と工

事内容は、また、子ども

の遊び場としての安全性

の管理について伺う。

◎答弁：小鉢地区にあつ

た遊具を利用し、桜木

町と大ヶ口の公園に遊具

を移設する。点検は毎年

度行っているが、職員が

遊具の維持管理研修を受

けるなど安全性を確認し

ていきたい。

民生費

◎質疑：新型コロナウイルス感染症防止対策支援事業補助金について、当町のワクチン接種方法は。

◎答弁：3年度中に基本設計を終わらせたい。早期に完成させるために業務を進めていく。

◎質疑：アニメの制作、

アニメを使用したイベントを開催し、町内外の交流人口を図る事業である。

◎質疑：町の経済効果や

交流人口に関しての調査・検証する体制はつ

くっているのか。

◎答弁：現在、町内全体でアニメを盛り上げていく準備段階である。今後、

効果と検証を報告していく。

◎質疑：イベント内容は伺う。

◎質疑：地域障がい福祉コーディネーター配置事業負担金について、どのような形でコードィネーターの方

総務費

◎質疑：鎮魂の森基本設計委託料について、3年

度中に基本設計ができる

のか。また、いつ完成す

るのか。

◎答弁：3年度中に基本設計を終わらせたい。早く

期に完成させるために業

務を進めていく。

観光費

◎質疑：中央公民館指定管理業務委託料について、

城山体育館を含めて指定

管理制度を導入した背景

は。

◎質疑：教育委員会の執務室を10月から役場庁舎に移すことから進めた。

教育費

◎質疑：郷土財活用アオーブニングイベント運営業務委託料について、

アオーブニングイベント運営業務委託料について、

6月5日にオーブンセレモニーと現地見

学会を考えている。

土木費

◎質疑：公園施設撤去及

び遊具移設工事遊具更新

令和3年3月定例会

一般質問に7議員が登壇

令和3年3月定例会は、3月4日から18日までの15日間の会期で開催されました。今期定例会には、「大槌町国土強靭化地域計画」策定の報告、大槌町保健センター条例制定、大槌町営運動施設の設置及び管理に関する条例の制定、2年度の各会計の補正予算、3年度当初予算など、報告4件、議案31件、発議案2件が提案されました。

また、一般質問には7議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

◆議案—*

〔委員の任命の同意〕

◎大槌町教育委員会の委員の任命に關し
同意を求めること：
谷藤怜美氏を任命す
ることに同意を求め
るものであります。

（全員賛成・原案可決）

◎大槌町郷土財活用

◎大槌町保健センター条例の制定：大槌町保健センター設置に関する必要な事項を定めるものです。（全員賛成・原案可決）

制定：大槌町郷土財活用湧水エリアの設置及び管理に関する必要な事項を定めるものです。

◎大槌町男女共同参画推進委員会設置条例の制定：大槌町男女共同参画プランの策定にあたり、大槌町男女共同参画推進委

◎大槌町営運動施設の設置及び管理に関する条例の制定：大槌町営運動施設の設置及び管理に関する条例を制定する。この条例は、大槌町の運動施設の運営と管理を明確化し、より効率的な運営を実現するためである。

〔契約の締結〕
◎工事請負契約の締結：運動施設整備工事（その1）において施工数量の確定に伴い請負額を1546万1600円増額して、事業費総額を10億6519万1600

〔契約の締結〕

◎工事請負契約の締結：運動施設整備工事（その2）において施工数量の確定に伴い請負額を673万4200円増額して、事業費総額を7億9345万4200円とするものです。（全員賛成・原案可決）

◎工事請負契約の締結：運動施設整備工事（その2）において施工数量の確定に伴い請負額を673万4200円増額して、事業費総額を7億9345万4200円とするものです。（全員賛成・原案可決）

◇報告一*

◎令和3年度大槌町 下水道事業会計予算 (全員賛成・原案可決)

◎令和3年度大槌町後期高齢者医療特別会計予算

分語保險特別會議主
算

◎令和3年度大槌町 国民健康保険特別会 計予算

◎令和3年度力機圖一般會計予算

(全員賛成・原案可決)

議会の動き	(2月)
12日・合同常任委員会	・第1回全員協議会
16日・三陸みらい探究発表会	・第2回全員協議会
18日・第2回全員協議会	・釜石大槌地区行政事務組合定例会（釜石市）
21日・岩手医科大学へ合同要望書提出	・岩手県後期高齢者医療広域連合定例会（盛岡市）
23日・政務調査会総会	・東部町村議会議長会定期総会（盛岡市）
23日・第4回全員協議会	・2月定例会（釜石市）
29日・岩手県漁港漁村協会理事会（盛岡市）	（3月）
3日・大槌町保健センター落成式	1日・議会運営委員会
6日・岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会監査	4日・3月定例会（～18日）
18日・「おおつち海の勉強室」お披露目式	・第3回全員協議会
21日・岩手医科大学へ合同要望書提出	11日・大槌町東日本大震災追悼式
23日・政務調査会総会	12日・予算特別委員会（～17日）
23日・第4回全員協議会	16日・総務教民常任委員会
29日・岩手県漁港漁村協会理事会（盛岡市）	17日・議会報編集特別委員会
29日・岩手県漁港漁村協会理事会（盛岡市）	26日・大槌高校魅力化構想会議

審議した議案

◎ 大槌町老人福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定に係る報告：前期計画の計画期間が終了することに伴い、各種施策の見直しを行い、今後の高齢者福祉・介護施策の方針性を明らかにし、事

○「大槌町障がい福祉プラン(実施計画)」の策定に係る報告：大槌町総合計画で掲げる基本方針及び大槌町障がい福祉プラン(基本計画)で掲げる基本目標を実現するため、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」及び「児童福祉法」に基づき策定するものです。

る報告：国土強靭化基
本計画及び岩手県国土
強靭化地域計画との調
和を図りながら、いか
なる災害が発生しても
安全・安心な地域社会
の構築に向けて策定す
るものです。

《採択となつた請願》

◎安全・安心の医療 介護の実現と国民の いのちと健康を守る ための請願

◎安全・安心の医療 介護の実現と国民の いのちと健康を守る ための請願

都市計画法第18条の策定に係る報告書……
2に定められた「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、まちづくりの将来像や都市施設の整備方針等を明らかにするため策定するものです。

◎「大槌町都市計画マスター・プラン改訂版」

○加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書：障害者総合支援法に基づき衆衛生施策の拡充を求めるものです。（全員賛成・原案可決）

◎安全・安心の医療・
介護の実現と国民の
いのちと健康を守る
ための意見書：新型
コロナウイルス感染
対策の教訓を経て、国
民のいのちと健康、暮
らしを守るためにも、
そして新たなウイル
ス感染や自然災害な
どの事態の際、経済活

◇ 発議案 — *

◎令和2年度大樺町一般会計補正予算（第7号）を定めること…

第1回臨時会

第1回臨時会

助制度の創設を求めるものです。

議員の表彰



阿部義正議員が岩手県町村監査委員協議会から
町村監査委員 6 年以上在職者の表彰を受けました

今和 3 年 3 月 26 日

締結の専決処分の起

◎ 工事請負變更契約
告白

告：リサイクルセンターストックヤード建設工事において、工事期間の延長及び工事費の増額により契約変更が生じたから専決処分したものです。

◎工事請負変更契約
締結の専決処分の報

告：大槌町保健センター建設工事において、工事期間の延長及び工事費の増額により契約変更が生じたことから専決処分したことから専決処分したもので

◎工事請負変更契約を締結の専決処分の報告：さけます種苗生産施設災害復旧工事において、工事期間の延長及び工事費の増額により契約変更が生じたことから専決処分したものです。

◇報告—*

(全員賛成・原案可決)

万9千円とするもの
です。

を139億2550

を増額し、予算の総額

◎工事請負変更契約

○工事請負変更契約

5

3月定例会一般質問項目

1 芳賀 潤議員 P7	①今後の中心市街地（区画整理事業地内）の空き地対策について ②大槌町老人福祉計画・第8期大槌町介護保険事業計画について ③消防団員の確保と報酬などについて ④町長の施政方針について
2 澤山美恵子議員 P8	①区画整理区域の空き地対策について ②協働地域づくりについて
3 阿部俊作議員 P9	①交通安全について ②避難所について ③町内土木建設業者の災害出動と入札について ④文化財活用について
4 小澤良一議員 P10	①財政問題について ②震災後の新たなまちづくりについて ③郷土財活用湧水エリア整備並びに今後の活用について
5 菊池忠彦議員 P11	①こども教育センターについて ②地震・津波対策について ③歴史文化観光の振興について ④新型コロナウイルスワクチン接種について
6 東梅康悦議員 P12	①財政運営について ②働く場の創出について
7 佐々木慶一議員 P13	①災害への備えについて ②自然災害を含む、発生被害への対応について

※3月定例会の会議録は、5月下旬（予定）に町のホームページに掲載されます。

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437662.html>

※3月定例会のYouTubeへの配信について町のホームページに掲載しています。

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437526.html>

中心市街地の空き地対策は

地域経済の好循環につながる施策が必要



芳賀潤議員



今後の中心市街地（区画整理事業地内）の空き地対策について

【問】震災後10年、被災した市町村においては最重要課題であると思うが、その中で中心市街地の空き地対策を継続していかないことは到底考えられない。

基金を準備し、その執行率が67・4%、いわば33%、建築件数にすると163件分残っていることになる。この基金が100%になるまでの間は、中心市街地における空き地対策を実施していくのが、町の今後の考え方について伺う。

【答】(平野町長)
町方地区の土地利用状況や居住人口の推計では、土地の利用率は78・5%となっており、土地の利活用が図られたと考へている。
中心市街地の空き地対策は、当初計画した2年間による促進策である短期的な取組から、地域経済の好循環につながる施策など、中長期的な視点での取組が必要と判断している。
第9次大槌町総合計画を推進することで、地域経済の好循環を図り、移住定住につなげていきたく考へている。

主に団塊の世代が後期高齢者となる2025年団塊ジュニア世代が65歳となる2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備をさらに推進していくことである。

【答】(平野町長) 第8期大槌町老人福祉計画・事業計画について

【問】大槌町の第7期と第8期の違いと、重要課題の分析と計画への反映、人材確保策について伺う



町方地区（大槻駅周辺）

町方地区（大槌駅周辺）

「介護人材の確保に向けた取組の推進」については、「定着・育成」に重点を置き検討したもので、個人のスキルアップ、キャリアアップを行政でバックアップすることにより、事業所へのメリットも考慮した計画になっている。

【問】現状と課題を伺う。

消防団員の確保と報酬などについて

【答】（平野町長）

当町の消防団員の出動手当は、火災や風水害などの災害出動では1回につき2500円、警戒及び訓練の場合は2000円の手当を支給している。地域住民の安全・安心を担う消防団員は全国的

ムをさらに深化させ、「介護予防・自立した日常生活の支援」等の事業について町民との協働を進めていくことを計画している。

「地域包括ケアシステムをさらに深化させ、「介護予防・自立した日常生活の支援」等の事業について町民との協働を進めていくことを計画している。

に年々減少しており、消防団員の確保は喫緊の課題と認識している。

- 広報誌によるPRやポスター掲示、団員による勧誘を根強く継続し、団員確保につなげていく。



澤山美恵子議員



新たな空き地対策打ち出されず



空き地が目立つ町の中心市街地

【答】(藤原企画財政課長) 具体的な施策は持ち合わせていない。一次産業

【問】切れ目なく次の策を始めるべきと考えるが。

今の住宅建設や土地取得に特化した制度だけでは効果が見られない。経済対策をしっかりと交流人口の拡大を通じた定住促進を図る。

区画整理区域の空地対策について
【問】空き地バンクと補助制度を打ち切る方針が示され、新たな対策は何一つ打ち出されなかつたことにについて伺う。

【問】住宅建設補助制度の1億円以上残っている予算はどういうに使うのか。

の活性化に向けて事業を進めている。

【答】(藤原企画財政課長) 地域活性化に資する事業に使いたい。

【問】町の重大施策について、当局は議会に前もって報告・相談せずに決めることが多いと感じるが。

【答】(平野町長) に何が書いてあるのか分からないとか、存在すらよく覚えていない職員もいたという。その体质が根本的に改められない限り同じことが繰り返されると思うが、見解は。

【答】(平野町長) 防災手帳は私が担当者事前に説明してから取り組みみたいという気持ちで努めている。

【問】新年度にできる協働地域づくり推進課は、町民の話を聞いたり担当課につないでくれるという認識でよろしいか。

【答】(三浦総務課長) 不快な思いをさせないようにという意識をもつて一人一人取り組むことが基本だと思っているので、継続して取り組む。

【問】震災で加速した人口流出や少子高齢化などで協働地域づくりについて

【答】(高橋コミュニティ総合支援室長) まちづくり全般に関する提案等ハード・ソフト両面を承る。

【問】民間に協働をお願いする前に職員自らが率先して地域に尽力するのが先ではないか。町内会や自治会役員を務める役員職員の人数は。

【問】当局が計画や制度を作った後は、ほつたらかしになっている部分もたくさんある。震災の時も、地域防災計画や防災手帳を作ったにもかかわらず、それ

【答】(藤原企画財政課長) てもそらす」などの声をいまだに聞く。丁寧に接してくれる職員もいるが、それが全体でなければならぬのではないか。

【問】町民から、役場職員が「電話に出ても名乗らない」、「窓口で目が合つ

歩車分離の信号機設置を

関係機関に働きかける



阿部俊作議員



【問】大槌高校生から避難所への誘導標識がないと

【答】(平野町長) 岩手県が発出する総合

に対応する避難所から除外されている。避難所の早期開設と早めの避難・安全確保に努める。

企業の役割は大きい。町への貢献度を入れのポイントにする声もあるがどうか。

【問】大槌高校生から避難所への誘導標識がないと

【答】(平野町長) 岩手県が発出する総合

同交差点は交通安全の重点箇所として認識している。交通保安員の配置と教職員・保護者による見守り体制を整え、交通安全確保に努める。

また、当該交差点の歩車分離が実現するよう関係機関に働きかけていく。

【問】避難所は災害の種類で分けられず住民が安全確保できるように整備す

べきである。安渡地区の現状と課題を尋ねる。

【答】(平野町長) 安渡地域内唯一の指定

避難所である安渡分館避難ホールは土砂災害警戒区域に該当し、風水害等に対応する避難所から除外されている。避難所の早期開設と早めの避難・安全確保に努める。

【問】大槌高校生から避難所への誘導標識がないと

【答】(平野町長) 岩手県が発出する総合

交通安全について

【問】新大槌トンネル三枚堂側出口の事故防止の注意喚起についての考え方を伺う。

指摘されているが。

評定値通知書に基づき施工能力の等級付けを行っている。その中に地域貢献状況の項目も含まれ等級に反映できていると考える。

【答】(平野町長) 誘導標識は重要な目印である。整備に向け計画的に進める。

を歩車分離にするようにお願いしてきたが、どうなっているか。

【答】(沼田教育長)

同交差点は交通安全の重点箇所として認識している。

交通保安員の配置と教職員・保護者による見守り体制を整え、交通安全確保に努める。

【答】(平野町長) 釜石警察署に相談したところ、看板等には規制標識の文言及び表現はできないとの指摘を受けしており、注意喚起の看板設置は考えていない。

【答】(沼田教育長) 町内11業者と個人2名に「自然災害時の対応に関する協定」を締結し迅速な除雪体制をとっている。議員指摘の浪板地域は1月5日環境整備課職員がパトロールし翌日除雪した。

【答】(沼田教育長) 【問】圧雪になつては遅いので迅速な対応を願う。災害防災出動など地元企業の役割は大きい。町への貢献度を入れのポイントにする声もあるがどうか。

【答】(藤原企画財政課長) 事業の展開性が見えてから計画する。

【答】(沼田教育長) 町内土木建設業者の災害出動と入札について

成の観点から、できる限り地元事業者に発注している。

【答】(沼田教育長) 町道除雪体制について

歴史遺産がある。国では活用を勧めているが当局の考えは。

【答】(沼田教育長) 文化財活用について

文化財標柱を設置して活用方策を行ってきた。国の支援事業を精査し、第9次総合発展計画推進の中で文化財活用の方策を調査・研究する。

【答】(沼田教育長) 文化財活用について

文化財標柱を設置して活用方策を行ってきた。国の支援事業を精査し、第9次総合発展計画推進の中で文化財活用の方策を調査・研究する。



ドライブレコーダーから見た迫田交差点



白澤良一議員



財政問題について

減債基金を活用し対策を講じる必要がある

財政問題について

【問】町民の命と暮らしを守るために財政運営に支障はないのか。

【答】(平野町長)

人口減少などにより歳入増が見込めない中で、歳出全体に占める公債費の割合が上昇傾向にあり、財政構造の硬直化につながることから、公債費の負担軽減の必要性を認識している。

【答】(平野町長)
震災以降、公債費の元

金償還額よりも町債発行の多い状態が続いている。町債発行限度額のルール化や減債基金を活用した繰り上げ償還などの対策を講じる必要性を認識している。

震災後の新たなまちづくりについて

【問】町長が描いていた当初計画どおりの復興ができたか。

【答】(平野町長)

復興計画に基づき、にぎわいの創出、地域の魅力の創造、産業の活性化を最優先に進めている。

【問】今後の課題等について



市街地の状況

【問】被災者にどれだけ思いを寄せ、期待に応えてきたか。

【答】(平野町長)

見舞われないため、犠牲者の方々を思い供養し、悲劇を忘れずに津波の教訓を生かした防災文化の醸成を図っていく。

【問】利活用のた

【答】(平野町長)
汽水域の確保、埋土種子や根が含まれる表土を再利用することなどを、多岐にわたる助言を受けた。

【答】(平野町長)
「郷土財エリア保全活用委員会」を設置することとしている。

めの検討委員会設置を要望するが、見解を伺う。



遊水地エリア周辺

こども教育センターの在り方は

目的に沿った運営を行う



菊池忠彦議員



こども教育センターについて

【問】こども教育センターは放課後児童クラブ（学童）と連携し、同クラブ

に入所している児童たちも自由に往来ができる場所であったのにも関わらず、近頃では大きく区別化されているような感が否めない。所見を伺う。

【答】（沼田教育長）あらかじめ登録した3年生以上の児童が利用でき、学童クラブを利用の児童についても登録していれば自由に利用できる。

【問】こども教育センターと学童クラブの利用方法について、保護者に周知

【答】（杉田学務課長）

年生以上の児童が利用でき、学童クラブを利用の児童についても登録していれば自由に利用できる。

【問】「大槌町こどもセン

ター管理運営に関する規則」には、「町内に在住する小学1年生から6年生までの児童に利用させるものとする」と明記してあるが、実際には3年生以上からの利用になつており、利用学年が限定的になつた経緯を伺う。

【答】（杉田学務課長）

以上から、町内に在住する小学1年生から6年生までの児童に利用させるものとする」と明記してあるが、実際には3年生以上からの利用になつており、利用学年が限定的になつた経緯を伺う。

【答】（杉田学務課長）

1・2年生は学習内容に耐えうるような発達段階にないと考える。

【問】子ども放課後教室の在り方として、体験学習の場を設けることが主な目的であるが、これは地域の方々の参画を得て、

学習活動やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組を実施するということである。コーディネーターが不在の状態で本センターがうまく機能してゐるか。

【答】（平野町長）

【答】（平野町長）

【答】（平野町長）

【答】（岡本産業振興課長）

【答】（岡本産業振興課長）

【答】（岡本産業振興課長）

【答】（岡本産業振興課長）

ができるいない部分があると感じる。円滑に運営するためには、双方のスタッフ間の情報共有が必要ではないか。



こども教育センターでの体験学習

たものであり、観光振興においても大槌町ならではの強みになると認識している。これらを通じて、町民、地域とのつながり、未来への継承、交流人口の拡大、さらには観光誘客により、町内の飲食店や宿泊業者への消費につなげ、様々な形で町に関わっていただけけるような仕組みを作り上げるのが目標と認識している。

【問】町民有志が募金活動などをを行い御社地天満宮が再建の運びとなつたが、この場所から様々な発信をし、商工観光につなげてはどうかと考へるが、所見を伺う。

【問】町の歴史ある文化財を観光コンテンツとして発信し、交流人口の拡大につなげることは、何よりも震災復興後の新しい観光政策につながると考えるが、見解を伺う。

【答】（岡本産業振興課長）

当町の歴史は観光資源になり得ると感じている。まずは町民に対し、ストーリーや背景を踏まえ、町外に発信していくたいと考えている。今後は、教育委員会と連携して町の歴史遺産を観光資産ができるよう進めていく。



東梅康悦議員



町債と公債費の収支は

町債の限度額をルール化する

財政運営について

堅実な行財政運営を実施する上で次のことを伺う。

【問】国勢調査確定後の地方交付税の見通しは。

【答】(平野町長)
国勢調査の結果はまだ確定していないが、人口減少により普通交付税の減少が見込まれる。

【問】町税の今後の見通しは。

【答】(平野町長)
町民税は納税義務者の減少により緩やかに減少し、固定資産税も震災減免の終了に伴い一時的に

増えるものの、その後減少し、7年度では9億8千万円を見込んでいる。

【問】今後の町の町債と公債費の収支は。

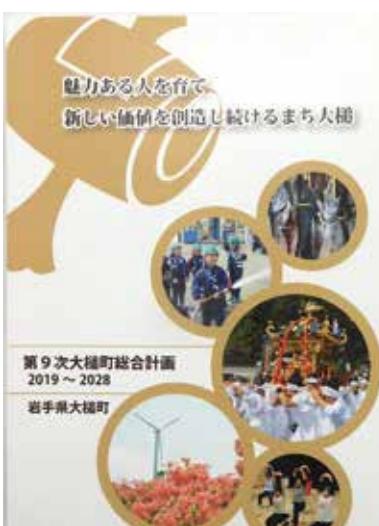
【答】(平野町長)
3年度は町債11億1千萬円、公債費は6億5千萬円である。平成27年度以降、町債発行額が公債費を上回っており、町債の発行限度額のルール化や減債基金を活用した繰り償還を行いたい。

【問】各基金の財政運営への繰入れは。

【答】(平野町長)
収支不足額は財政調整

基金から繰入れて収支の均衡を図る。財政健全化に向け、様々な手法を駆使して基金に依存しない財政運営に取り組む。

【問】公共施設の維持、管理を目的とした基金の創設は。



「持続可能なまちづくり行政運営を目指して」

【問】若者世代が地元に残る、戻ってくるには働く場が大きな要因となる。これまでの誘致企業による採用・雇用状況は。

【答】(平野町長)
3月に卒業した大槌高

基金から繰入れて収支の均衡を図る。財政健全化に向け、様々な手法を駆使して基金に依存しない財政運営に取り組む。改修を見据えて、必要な財源を確保するために公共施設管理基金を創設し、毎年度更新費用を基金に積み立てることを考え

【答】(平野町長)
復興事業により整備された公共施設が30年を迎える頃に到来する大規模改修を見据えて、必要な財源を確保するために公共施設管理基金を創設し、毎年度更新費用を基金に積み立てることを考え

【答】(藤原企画財政課長)
創設時の積立額を多めにして、その後の積立額を軽減させたい。

【答】(平野町長)
創設時の積立額を多めにして、その後の積立額を軽減させたい。

【答】(平野町長)
現在、国や町の補助金を活用して数社と誘致や拡大について相談しているがコロナ禍であり、企業の経営状況を伺いながらの相談となっている。今後も産業集積地への企業誘致を推進するとともに、地元業者の経営力の強化や起業により多面的に雇用の場の創出に取り組む。

※町債：町の借入金
※公債費：町が国などから借り入れたお金の返済に使われる費用
※基金：特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てまたは定額の資金を運用するために設ける財産

生活道路の災害発生時の復旧方法は

公道でないため再発防止はせず単純復旧



佐々木慶一議員



災害への備えについて

【問】平成29年に全戸配布された防災マップは非常に見にいいとの声が多い。見直しの予定は。

(答) (平野町長) 3年度中に新たに作成する。尺度の拡大、風水害と津波に関する被害影響のページ分け等に加え地域住民の知見・情報等を反映させることで、見やすい防災マップとなるようを考えている。

【問】大槌稻荷神社は地震津波における「避難場所」か。また、神社に避難するための道路は避難道か。

【答】(平野町長)
震災後、地震津波に対するハード面の対策は取られてきた。今後は避難場所へのアクセスという

【問】その避難道の劣化が著しく、有事の際の安全確保が難しい状況。3月7日に行われた避難訓練の際も、リヤカーで上れず途中で引き返して別の避難所に移動するということもあつた。安全対応をどのようにすべきと考えているか。

【答】（那須環境整備課長） その道路は町道ではないため舗装復旧はできない。
いは。

通れないないほどの侵食を繰り返す道路がある。都度、土砂の埋め戻しを行っているが、再発防止のために舗装することはできないか。

A paved path made of large, irregular stones leads upwards through a forested area. A red metal railing runs along the right side of the path, providing safety for hikers.

[問]その答弁は、町民に
対してあまりにも冷たい
のではないか。町当局の
見解は。

【答】(那須環境整備課長) 何度も申し上げているが、公共施設でないものに対しても災害復旧はできないので、何回質問されても答弁は変わらない。検討の余地もない。

【答】(田中上下水道課長) 漏水事故発生時は、水道料金の支払い上限額を通常料金の数倍程度に抑えるように条例の見直しを行いたい。また、漏水に対する料金減免額の見直しも行いたい。

点でも地域の方々の意見も聞きながらしっかりと対応していく。

自然災害を含む、発生被害への対応について

【問】大雨のたびに、車が通れないほどの侵食を繰り返す道路がある。都度、土砂の埋め戻しを行っているが、再発防止のために舗装することはできないか。

【答】（那須環境整備課長）その道路は町道ではないため舗装復旧はできな
い。



老朽化が進む避難場所への避難道

A paved path leads from the foreground towards a wooden fence and a cluster of trees in the background.

A black bird, possibly a crow or raven, is perched on a large, light-colored rock. It is facing towards the right of the frame. The background shows a paved road curving away from the viewer, bordered by a dark wooden fence and some greenery.

復旧は十盛りだけ（舗装せず）

大雨のたびに侵食される生活道路

【答】(北田副町長) 町民の安全を守るために、どのような対応を

【問】水道配管の凍結や老朽化による漏水事故で、一ヶ月当たり数十万円の水道料金の請求をされたという事例が多発している。漏水事故とはいえ、あまりの高額すぎるのではないか。

取るべきかという原点に立って考えていく。ただ今の発言については申し訳ございません。



表紙写真とタイトル



皆さん、新年度もたくさんのお体験をしてね。

表紙の写真は、4月19日に撮影した「おさなご幼稚園」の園児さんたちです。



作品展『水族館』



作品展『はらぺこあおむし』



「大きくなってね」

「おおつち」は、「おさなご幼稚園」の久慈夏芽さん(5歳)に書いていた、だ

きました。どんなことを思いながら描いてくれたのか伺いました。

Q どんな気持ちで書きましたか。
A みんなが楽しくなるようなイメージで書き

ました。

桜、チューリップ、虫など、どれも春を感じる作品で、楽しさが伝わってきました。

上手に書いてくれて、ありがとうございました。

「おおつち」は、「おさなご幼稚園」の久慈夏芽さん(5歳)に書いていた、だ

きました。佐々木遙人さん(5歳)、古館陽向さん(5歳)、竹内柚奈さん(5歳)、大吉さん(5歳)が書いたものです。

今回の表紙タイトル

タイトルは、次の4名の方にも書いていただきま

定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	3月定例会		第1回臨時会	
		3/4～3/18		1/29	
		出席	欠席	出席	欠席
1	菊池 忠彦	8	0	1	0
2	白澤 良一	8	0	1	0
3	佐々木慶一	8	0	1	0
5	澤山美恵子	8	0	1	0
6	阿部 三平	8	0	1	0
7	東梅 守	8	0	1	0
8	阿部 俊作	8	0	1	0
9	東梅 康悦	8	0	1	0
10	及川 伸	0	8	0	1
11	金崎 悟朗	8	0	1	0
12	阿部 義正	8	0	1	0
13	芳賀 潤	8	0	1	0
14	小松 則明	8	0	1	0

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおチャンネル」、「YouTube」でも視聴いただけます。

● 6月定例会は6月4日(金)開会予定です
(予定は変更される場合があります)

委員会報編集特別委員会
委員長：菊池忠彦
委員：阿部俊作、阿部義正、及川伸、阿部忠彦、阿部三平、佐々木慶一

編集後記

▼コロナ禍の中、町民の皆様はどうのようにお過ごしでしょうか。外出自粛から生まれたトレンド「巣ごもり消費」が注目されています。自宅にいながら買い物をしたり、ネットでの娯楽を楽しんだりするなどの新しい消費者行動を指すようですが、元々巣ごもりは鳥や虫の行動を指す表現であつたけど、最近では人や行楽や外食など避けて自宅で余暇を過ごすことを指す表現としてもよく用いられているみたいですね。3月より、おおチャンネルで放送されている議会中継の録画映像を、動画サイト（ユーチューブ）でも視聴できるようになりました。町議会の活動は、町民の皆様に伝わりにくく、その活動を広く知つていただくために情報発信はとても重要です。巢ごもりついでにインターネットで議会中継でもいかがですか。